

田野畑村における災害公営住宅の計画・供給の検討

東日本大震災で被災した岩手県田野畑村において、災害公営住宅の計画から整備まで3カ年にわたり検討・調査を行った。高台に整備する災害公営住宅団地の造成計画を街並み景観やコミュニティ形成の観点から検討し、曲がり家をモチーフとした災害公営住宅を道路に対して角度をつけて配置するなど、おおらかで田野畑らしい景観を創出する住宅地を計画した。供給方式は、民間事業者等のノウハウや事業力、地域の住宅生産体制などを活用する整備手法として買取方式を採用した。短期間での大量供給が求められたが、基本設計の実施と要求性能水準等の提示により住宅の品質を確保しながら、村内業者のみで全61戸の災害公営住宅の整備を実現した。現在は、曲がり家プランの災害公営住宅が地域の生活に馴染んで使われており、田野畑らしい高台住宅団地の暮らしが形成されている。

所在地	岩手県田野畑村
発注者	田野畑村、国土交通省
用途	住宅
構造・規模	木造平屋建て
竣工年	平成25～26年度